

平成30年度

専修学校モア・ヘアメイクカレッジ

自己点検・評価報告書

目次

評価項目の達成及び取組状況

自己点検及び評価項目

- 【 (1) 教育理念・目標 】
- 【 (2) 学校運営 】
- 【 (3) 教育活動 】
- 【 (4) 就学成果 】
- 【 (5) 学生支援 】
- 【 (6) 教育環境 】
- 【 (7) 学生の受け入れ募集 】
- 【 (8) 財務 】
- 【 (9) 法令等の遵守 】
- 【 (10) 社会貢献、地域貢献 】
- 【 (11) 国際交流 】

評価基準の設定

評価基準 (適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1)

評価項目の達成及び取組状況

自己点検及び自己評価結果

(1) 教育理念・目標

評価項目	H30年度 自己評価
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
・学校における職業教育の特色は何か	4
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

①課題

教育理念・目標は教員の意識として十分浸透していますが、今後はさらに学校が楽しい学びの場として活性化が図られるよう学生主体に立った課題を提供できるよう努める。

②今後の改善方策

学生がイメージしやすい20代の美容師像だけでなく、これからの美容師として業界をリードできる多様な美容師の生き方や取り組みができるよう支援するとともに、最先端の美容技術に加え、今後流行しそうな技術を先取りし学生に積極的に指導できるようにする

(2) 学校運営

評価項目	H30年度 自己評価
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4
・教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

①課題

AI時代に向け、紙ベース保管からデータ化での保管に移行検討する上で情報システムの導入

②今後の改善方策

導入予定の情報システムの選定

(3) 教育活動

評価項目	H30年度 自己評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
・教育理念、育成人材像や業界のニーズに踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
・事業評価の実施・評価体制はあるか	2
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・資格等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	4
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

①課題

美容業界に求められるニーズが多様化し専門的になるとともに、学生の美容に対するニーズも時代とともに変化しているので、授業科目もそれにもない変化させなければならない為、選択授業においては学生への負担を軽減するよう、授業料は別途徴収せずに複数履行を可能にし、好みと適性を見つけやすくする

②今後の改善方策

常に、組合立の専修学校の特性である美容関連業界とのネットワークを生かし、学生に対して最新のファッション情報や求められる人材情報の提供をして行く

③特記事項

教員は美容室の現場で毎年の研修（直接お客様担当）で業界のニーズを感じ取っている

(4) 学修成果

評 価 項 目	H30 年度 自己評価
・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	4
・退学率の低減が図られているか	4
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活躍されているか	4

①課題

国家試験合格率は100%に近い数値を誇るとともに、組合立の専修学校としての全国ネットワークによって学生が希望する企業への就職率は100%に近い数値となっている。年々早まる求職活動に対する学生支援対策を講じる。

②今後の改善方策

卒業生との合同で行うヘアショーやコンテスト等のイベントを通して卒業生の現状把握、又、学生への刺激により美容の楽しさを知ってもらう。

③特記事項

全国ネットワーク及び県内ネットワークにより就職率を上げている。

(5) 学生支援

評 価 項 目	H30 年度 自己評価
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
・学生の生活環境への支援は行われているか	4
・保護者と適切に連携しているか	4
・卒業生への支援体制はあるか	4
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

①課題

組合立の専修学校という特性を生かして、参加事業主に拠る学生支援は他に比べ充実しているが、これからはその質を向上させ、よりきめ細やかな実態に即した支援体制を整える。

②今後の改善方策

今後の美容業界を支える人材確保のための「産学協同の検討会」を立ち上げ、現状より進化したキャリア教育・職業教育の向上を目指す。

③特記事項

保護者と学生・担任教員の三者面談を1年次（10～11月）に1回、2年次（6～7月）に1回、全学生行っている。又、キャリアコンサルタントによる就職支援を今年度から実施。

(6) 教育環境

評価項目	H30年度 自己評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
・防災に対する体制は整備されているか	3

①課題

熊本地震後、防災への関心は強く、より今後は、防災意識を高めるために必要な組織を構築するとともに、現在実施している防災訓練を継続維持する。

②今後の改善方策

これからの美容師像として、働き方改革により生涯現役美容師を志す者に必要な教育施設が必要とされる今年度より、協同組合員のサロントレーニング室を賃貸（無償）する予定。

③特記事項

救急心肺蘇生におけるAED導入を検討、教職員全員で講習受講予定

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	H30年度 自己評価
・学生募集活動は、適正に行われているか	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
・学納金は妥当なものとなっているか	4

①課題

本校にとどまらず少子高齢化に伴って学生数が減少し、生徒募集には厳しい現状であるが組合立のカレッジの強み（美容業界を熟知している）を活かした広報活動。

②今後の改善方策

単に学校訪問だけでなく、SNSによる魅力発信の拡散や組合加盟店・協力店を再整備し、広く本校の知名度アップを行うことが改善事項と考えられる。

(8) 財務

評価項目	H30年度 自己評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4

①課題

学校運営は組合から教職員に委託された事業であるので、事業計画・収支計画など運営にかかわる体制協を
図る。

②今後の改善方策

運営委員会を通して、学校運営にかかわる研修会を実施

③特記事項

財務情報は毎年、中小企業等協同組合法に基づき中央会に提出
長期借入金は平成 29 年度施設購入の為

(9) 法令等の遵守

評価項目	H30年度 自己評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
・自己評価結果を公開しているか	3

① 課題

広義でのコンプライアンスだけでなく、日常発生する様々なトラブル解決を図るための問題意識の向上を図
る。

②今後の改善方策

法令遵守を推進するために必要な法令・通達等は共用ファイル化し教職員に情報開示を行う。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	H30年度 自己評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

①課題

〔より地域社会の一員として地域団体・企業・市民交流を健全に推進する〕

②今後の改善方策

〔美容業界の教育訓練の受託は出来ているが、他業種との交流の機会を持つ〕

③特記事項

〔今年は熊本県知的障害者施設協会主宰のイベントに参加予定〕

(11) 国際交流

現在、実施していないので、自己評価の対処としない